

3. 延伸ルート

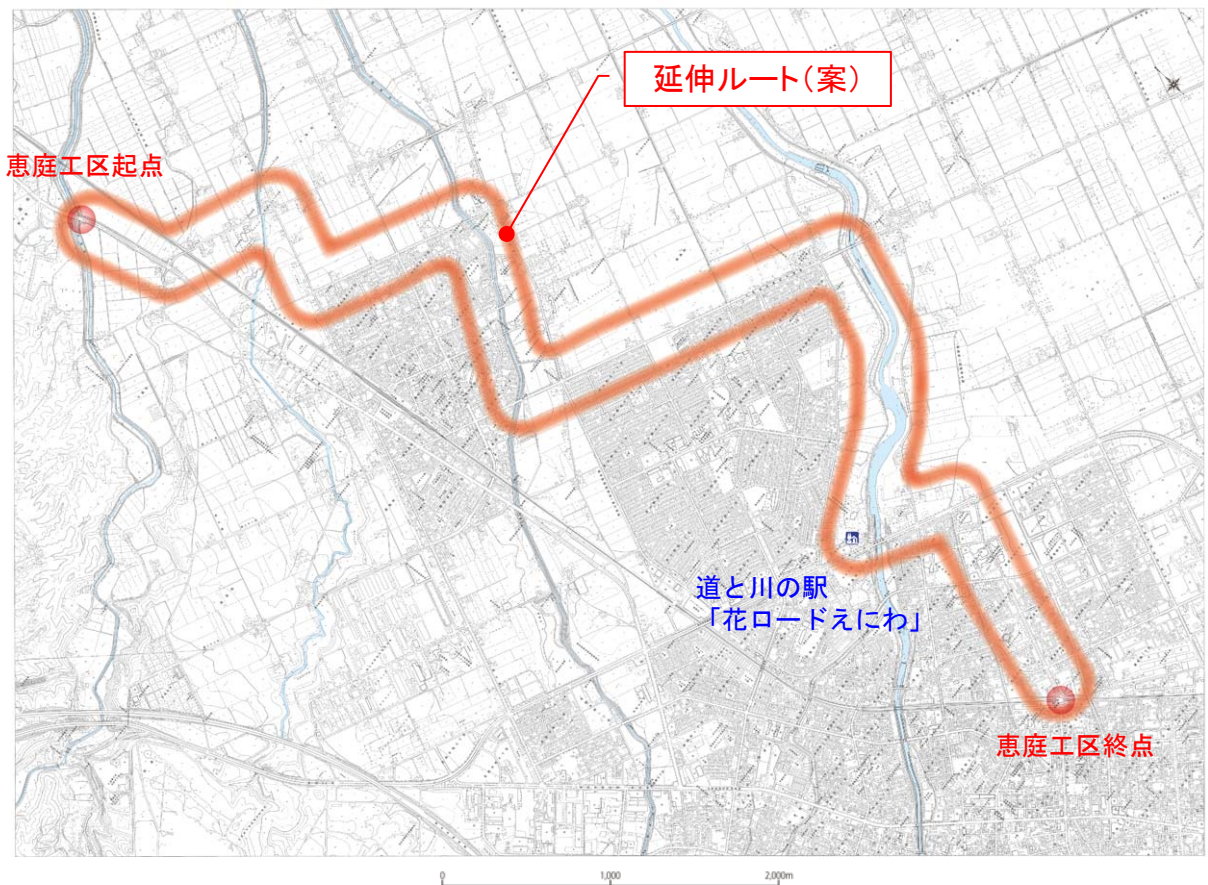
本委員会では、整備方針・整備イメージ、利活用方策、管理方策を策定する前にまず、ルートを固める事とした。
 ルートは、川とみどりを感じられる、まちの特徴を活かしつつ、3つの市街地をつなぐルートを決定した。
 なお、西島松北交流公園を経由する郊外ルートや盤尻方面を結ぶルートなどの派生的なルートは、恵庭市サイクルネットワークとして引き続き、市で検討する事を提案する。

【基本条件】

起 点：道道江別恵庭線島松川橋梁付近

終 点：JR恵庭駅

通過点：道と川の駅「花ロードえにわ」（※恵庭市の重要拠点であるため、位置づける）



第1回検討委員会では、延伸ルートの検討に向けて、「札幌恵庭自転車道線 恵庭工区の目指す姿」、「ルートイメージ」の意見が出された。

第2回検討委員会以降、札幌恵庭自転車道線 恵庭工区の主な施設など、延伸ルートの取り巻く環境を踏まえ、延伸ルートの検討を行った。

延伸ルートの検討の経緯は、9頁の資料に示す。

第1回検討委員会での主な意見

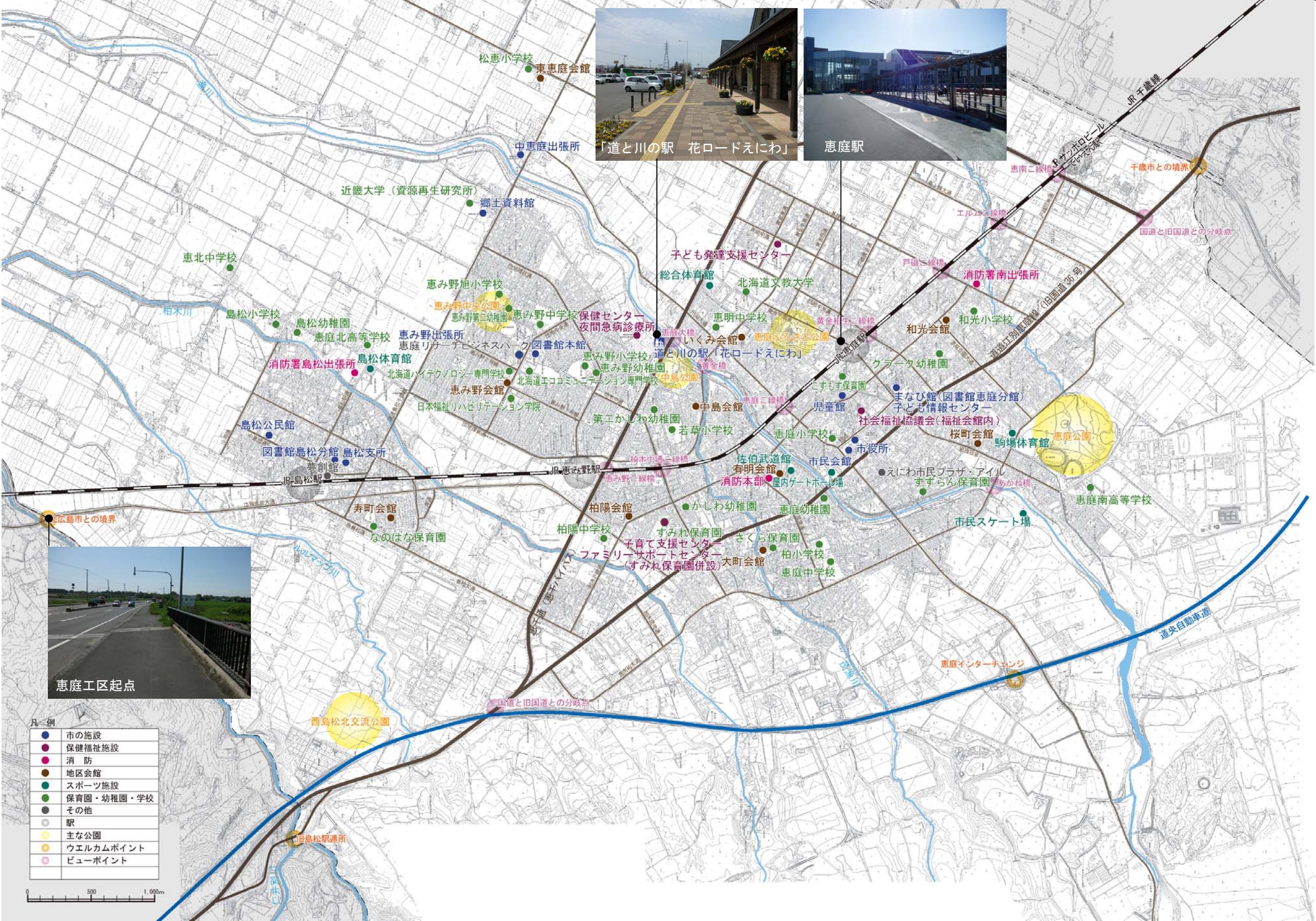
【札幌恵庭自転車道線 恵庭工区の目指す姿】

- ・ 森の中を抜けて、水辺を使うイメージがある
- ・ 自動車を気にしないで走れる自転車道が良い
- ・ 歩行者も安心して利用できる生活道路が良い
- ・ 自転車専用道としたほうが安全だ
- ・ 花のまち恵庭をアピールできる道が良いと思う
- ・ 子供たちが「花と水と緑」の恵庭らしさが再発見できる道になると良い。その事が自分のまちに誇りを持てる
- ・ これからの高齢化のことも考えたほうが良い

【ルートイメージ】

- ・ 漁川を経て道と川の駅を結ぶルートが良い
- ・ JR線の右側・左側で大きく景観も異なる
- ・ 島松、恵み野、恵庭を結ぶ生活の利用もある道が良い
- ・ 既存施設や歴史的施設を結ぶルートも良い
- ・ メインルートとサブルートがあっても良い
- ・ 恵庭岳を眺望できるポイントを入れてもらいたい

札幌恵庭自転車道線 恵庭工区の主な施設



札幌恵庭自転車道線 恵庭工区 延伸ルート 検討経緯

第2回検討委員会の主な意見

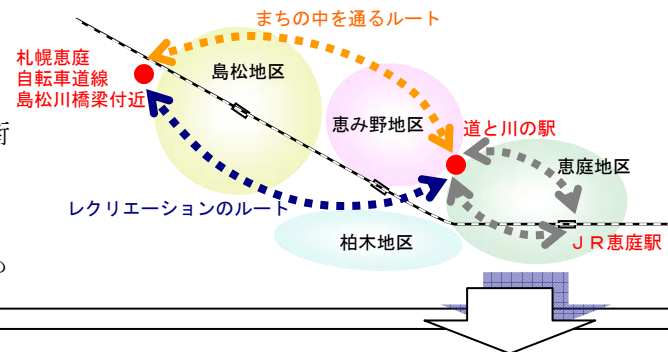
【議論の前提確認】

- ・今回の議論では、整備可否までは考慮せず、地元の希望する「理想ルート」を提案することとする。

【Aグループ】

○ルートの方向性

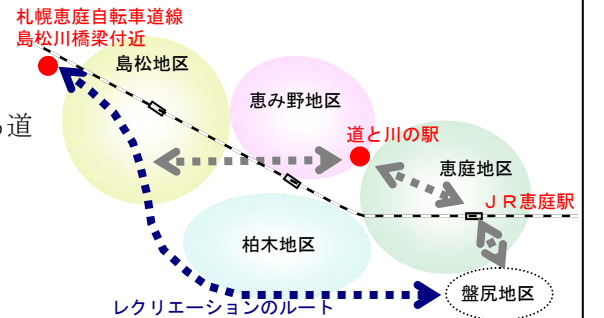
- ・平らな地形特性を活かし、住宅地で生活交通を担うルートを。
- ・市民が自転車に乗る機会・きっかけとなる道づくりを。
- ・郊外のルートはレクリエーションで走るには楽しくて良いが、街と離れる。
- ・利便性を考えると、“まちのなかでのルート”が望ましい。
- ・市街地ルートなら夜間も利用があるのではないかな。
- ・自転車道で人の流れを呼び込むことで、沿道の店舗立地や更新も期待される。



【Bグループ】

○ルートの方向性

- ・サイクリングは、快適性ある道が良い。
- ・車を気にしないで走れる道路が良い。安心できる道
- ・安全対策が必要である。
- ・共存する事を考えるのも大事である。
- ・景観が良い道。跨線橋の上が良い。
- ・将来の事を考えて、ルートを設定して方が良い。



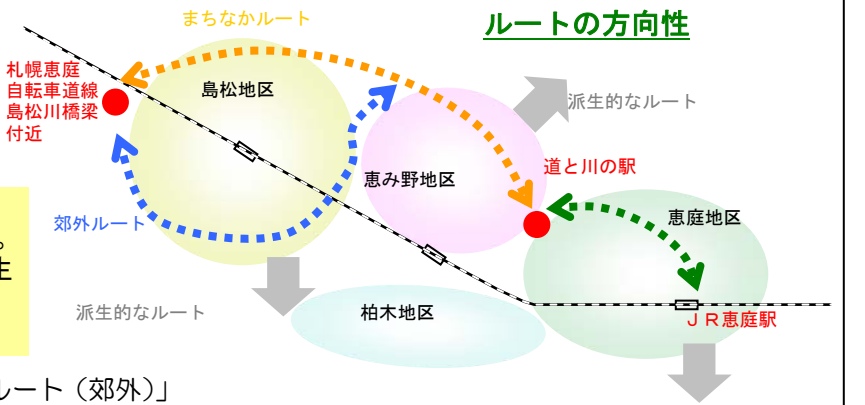
第3回検討委員会の主な意見

【ルート】

- ・「北広島と恵庭は違う」とは言うものの、やがては札幌～千歳の一連のルートになるとすれば、恵庭市内で多数の交差点・信号での停止があるのは好ましくない。
- ・札幌～北広島は一直線なので、かえって恵庭はまちなかを通ることが恵庭らしさとなり得る。田舎らしさを感じられるルートもよい。
- ・市の総合計画でも花のまち恵庭を観光のメインにしようとしている。
- ・自転車の使い方は、各々違う。アンダーパスは予算的に無理だろう。
- ・年をとってくると快適（快速）さは求めない。信号で止まりつつキョロキョロ周りを見ながらゆっくり走ったり歩いたりできるのがよい。車に邪魔されないことが大事。サイクリストとしては、側道を整備してほしい。
- ・折衷案はできないだろうか。農村風景と街の両方。西島松北交流公園周辺～眺める景色は、きれいで捨てがたい。

【まとめ（ルートの方向性）】

サイクリングロードをまちづくりの契機にする意見は一致。盤尻方面も良いが、ルートの経由地や終点を考えると、派生的なルートとして位置づけても良いのではないかな。



「Aルート（まちなか）」か「Bルート（郊外）」か、継続的な意見交換を実施

第4回検討委員会の主な意見

【Aルート（まちなかルート）】

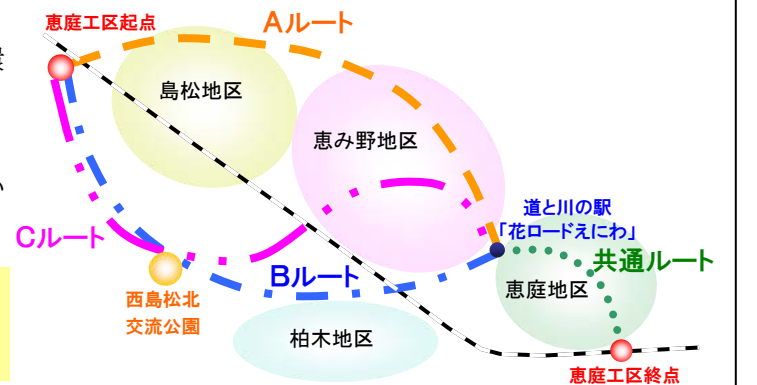
- ・千歳まで結ぶのであれば、恵庭のまちづくりが期待できる、まちなかルートが良いと思う。
- ・生活に密着するAルートが良い。まずは底辺（利用者）を拡大し、そのあとに郊外へ繋がると良いと思う。
- ・（花がみられる）街中を通過する方が恵庭らしさを出せると思う。
- ・自転車は車道を走る事になっているが、後からきたトラックにあおられて危険な思いをした。安全面を考えると、新たに自転車道を整備するAルートが良い。
- ・過去のアンケート結果から考えると、Aルートだと思う。北海道の方で背骨となる道路を整備して、枝線は市で整備していく気運を高めていければと思う。

【Bルート（郊外ルート）】

- ・札幌、北広島、恵庭と繋がることを考えると、札幌、北広島の走行環境を無視する事はできない。Bルートはそれを満たしていると思う。
- ・爽快な道がサイクリングロードだと思うので、Bルートが良いと思う。
- ・盤尻地区へのつながりを考えると、Bルートの方がアクセスしやすい。
- ・公園利用の観点から考えると、西島松北交流公園へアクセスしやすいBルートが良いと思う。
- ・委員会資料案を改良すれば、恵み野地区を通過するC案が考えられる。

【まとめ（ルート）】

A、Bどちらもコンセプトがあって良いが、優先すべき点は何になるだろうか？



現地視察会（平成22年10月2日）を開催し、委員へ意見聴取を実施

第5回検討委員会の主な意見

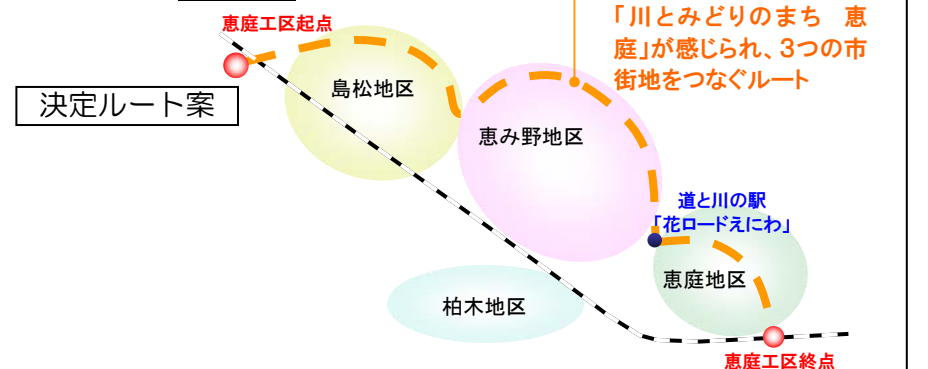
- ・現地視察会の結果から、まちなかルートで良い。

【まとめ（ルート）】

まちなかルート（A案）は、市街地へのアクセス、郊外ルート（B案）は、快適な走行環境が長所である。しかし、郊外ルートは急勾配の区間があり、ここを整備する事は難しいとの判断に至った。

今回決定したルートは、まちなかルートをベースとして、各案の長所を反映して設定したものである。基本ルートに位置づけ、今後は実現に向けた詳細な検討を進め、整備に繋げてほしい。

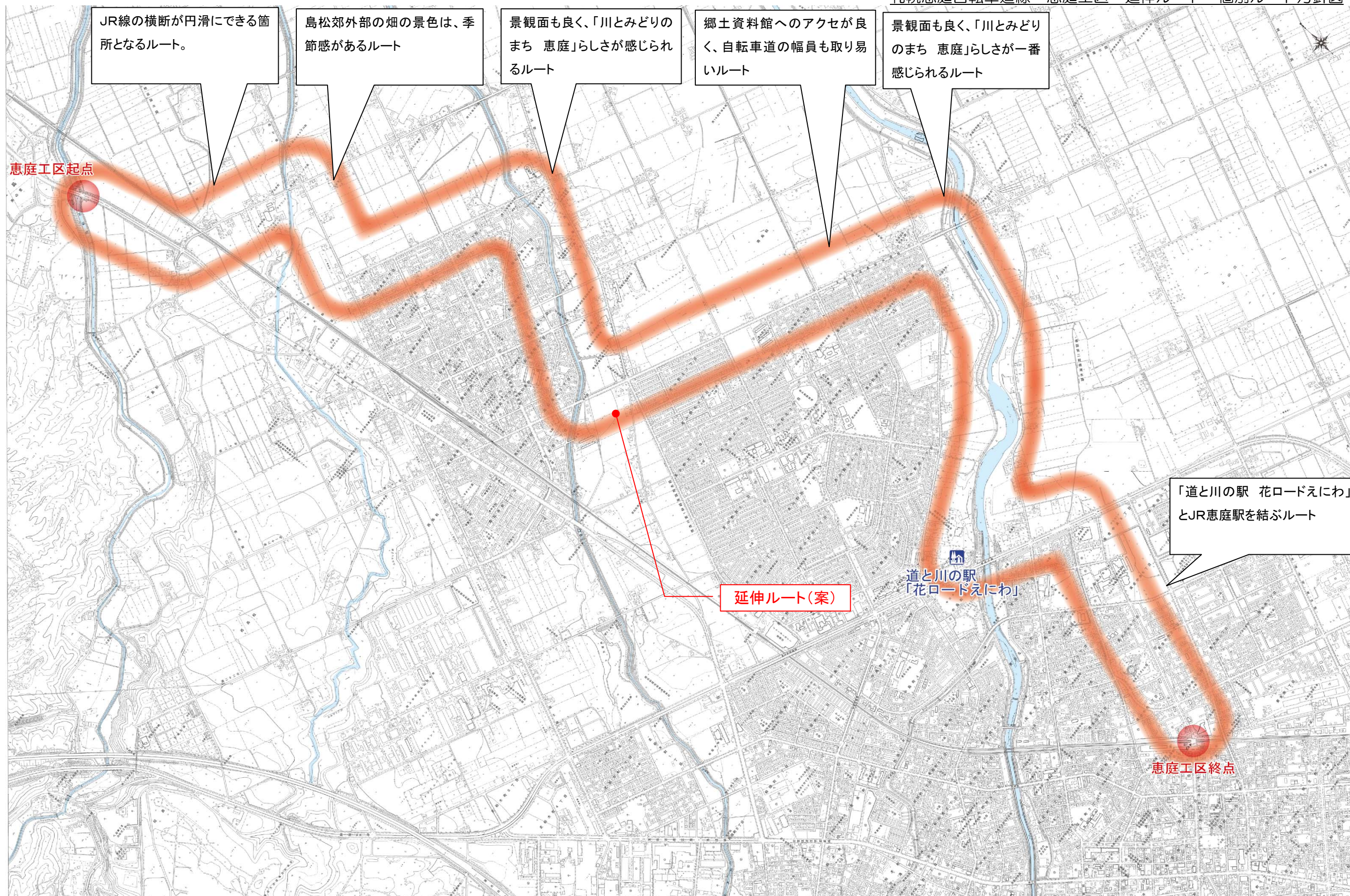
ルート案



決定ルート
「川とみどりのまち 恵庭」が感じられ、3つの市街地をつなぐルート

決定ルート案

札幌恵庭自転車道線 恵庭工区 延伸ルート 個別ルート方針図



0 1,000 2,000m